

社会福祉法人祥風会

所在地	土浦市
業種	医療・福祉
従業員数	182人

働き方改革に取り組もうとしたきっかけは

地域に根差した法人を目指したい、職員の皆さんに少しでも長く祥風会で働いて欲しい、という思いから取り組みを始めました。また、ただ単に長く勤めるだけではなく、『楽しく・気持ちよく・安心安全』で働いてもらいたいと思いました。働き方改革に取り組むことがそれに繋がっていくのではないかと考え取り組みました。

働き方改革の取組概要・効果

- ①介護記録のためのiPadの導入
- ②1時間単位の有給休暇の取得(日数制限なし)
- ③70歳までの特別再雇用制度の導入(70歳以降でも職員と法人の合意があれば就労可能)
- ④時間外労働の削減(残業月平均1時間)
- ⑤有給休暇の積極的な取得(毎月の消化日数を管理し、取得日数が少ない職員へ声掛け)
- ⑥育児休業を取得した職員の復職へ向けたバックアップ(定期的に現状や働き方の希望を聞き取り、いつでも復職できる環境を整備している)
- ⑦有給休暇とは別に特別休暇を整備(年3日間好きな時期に取得できる休暇の他に、冠婚葬祭の際に取得できる休暇)
- ⑧家庭の事情等に配慮した勤務地の設定
- ⑨職種別、階層別の内部研修の実施(その他、外部講師を招いての研修会や他法人との合同研修会も開催)
- ⑩業務上必要もしくは技術や知識の向上に繋がる外部研修への積極的な参加促進(交通費・研修費用は規定内で支給)
- ⑪初任者研修と実務者研修を開講(法人内で開講しているため資格取得やスキルアップが目指せる。研修に配慮したシフトを作成するため、働きながら受講することができる。)

【効果】

- ①記録の電子化で、見やすく統一された書類になり、回覧や申し送りがしやすくなった。
- ②記録の電子化で、書き物が苦手な外国人の職員も記録をしやすくなった。
- ③定年以降も継続して勤務してくれる職員が増えた。(現在最高齢79歳)
- ④施設長から直接有給休暇を取得するよう声掛けをしたことで、以前より取得しやすい雰囲気になった。
- ⑤家庭の事情に配慮した配置にしたことで、退職を考えていた職員が継続して勤務してくれることになった。
- ⑥法人内で初任者研修、実務者研修を開講することで、無資格で入職し介護福祉士まで取得して継続勤務している職員もいる。

従業員のみなさんの反応は

記録の電子化や業務の見直しにより時間外業務を減らすことができ、有給休暇もとりやすい雰囲気のため、プライベートも充実している。生涯現役で働けることに生きがいを感じていつまでも元気でいられる。他業種から介護業界に飛び込んだが、内部研修が充実しており、資格取得もできた。何よりも利用者の方の笑顔や感謝の言葉を直接いただけることにやりがいを感じる。といった声が聞かれた。

これから取り組もうとしている企業へアドバイス

顧客から選んでいただく為には、まず従業員ファーストの取り組みをし、長く勤めたい、あそこの会社で働きたいと思ってもらうことから始めませんか？従業員満足度が上がることでサービスの質が上がり、自然と顧客満足度のUPIにもつながると思います。